

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19222
課題名	上咽頭癌の病態解明に向けた分子生物学的・免疫学的解析
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2025年 3月 31日
研究の対象	西暦 1999年 1月 1日～2025年 3月 31日に当院で上咽頭癌の治療を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：病歴、血液検査・画像診断・病理診断結果、治療歴、再発・生存の有無）</p> <p>■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：上咽頭癌）</p> <p>■血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
研究の意義、目的	<p>上咽頭癌は頸から上にできる癌の中でも特異な臨床像と生物学的特性を有しており、発癌原因としてウイルスの関与が示唆されている疾患である。また、抗癌剤と放射線の併用治療に比較的高い感受性を示す一方で、転移をおこしやすいという特徴も有している。より有効な診断および治療法の開発のために病態の解明が急務であるが、他癌と比較し十分なされていないのが現状である。そのため、本疾患にて診断・治療を行った患者の臨床成績を蓄積し、癌から採取した組織や血液における種々の分子の発現を解析することにより、新たなバイオマーカーの発見や治療法の開発など今後の診療に大きく役立つ可能性がある。本研究では、癌から採取した組織や血液を用いて、本疾患で特異的に発現異常を来している分子を同定し、その分子について解析を行うことで本疾患の病態を解明することを目的とする。</p>
研究の方法	<p>診断時に採取した上咽頭癌の組織を用いて、発現異常が期待される分子に目印をつける試薬で組織を処理し、その発現具合を顕微鏡で確認する。また、定期血液検査時に余った血液を用いて、発現異常が期待される分子を補足する試薬により血液中での発現量を測定する。さらに、カルテから病歴や各種検査結果、治療歴、再発・生存の有無などの記録を参照して、上記分子の発現との因果関係を数学的な処理を行って判断する。</p>
その他	なし
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

北海道旭川市緑が丘東 2-1-1-1

旭川医科大学 病理学講座免疫病理分野 0166-68-2381

研究責任者：長門利純